

市民意識調査の結果をお知らせします

市民の皆さんのご意見をまちづくりに反映し、行政サービスの向上に役立てようと、ことし6月に市民意識調査を実施しました。このほど、調査結果がまとまりましたので、その主なものをお知らせします。



お尋ね 市役所企画調整課 (☎24-1111)

対象：市内在住の16歳以上の男女3,500人（無作為抽出）
 調査方法：郵送での調査票発送、回収
 調査期間：6月6日～30日
 有効回収数：1,261（36.0%）

さまざまな「まちづくりの取り組み（施策）」の重視度と満足度について

	暮らしづくり (保健福祉)分野	人づくり (教育文化)分野	仕事づくり (産業振興)分野	街づくり (生活環境)分野	市役所づくり分野
重視度が高い 取り組み	医療	義務教育(学校教育)	安定した雇用労働	消防・救急救助	健全な財政運営
	子育て支援	幼児教育	商業	廃棄物の処理	行財政改革の推進
	高齢者支援	高等・専門教育	観光	上水道	広域行政
満足度が高い 取り組み	医療	市民文化	観光	消防・救急救助	市民参加によるまちづくり
	健康づくり	生涯学習	水産業	上水道	広域行政
	地域コミュニティー	市民スポーツ	工業	下水道	住民に便利な市役所づくり

取り組み（施策）の重視度について

市民の日常生活に身近で、行政が担うべきものに対して重視度が高い傾向にあります。

一方、「国際交流」、「港湾づくり」、「市民文化」のようにかわる人が限られていたり、市民などが担い手として期待されていたりする取り組みに対しては、重視度が低い傾向にあります。

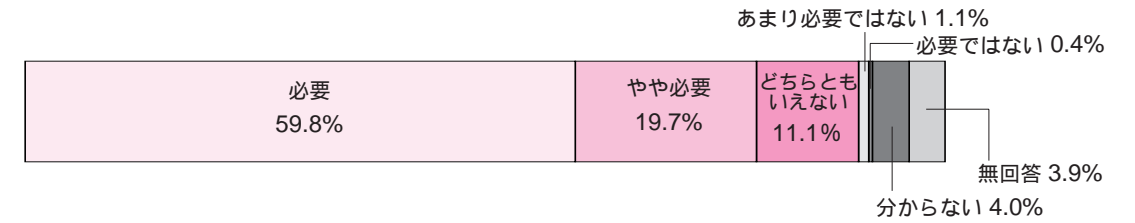
取り組み（施策）の満足度について

満足度が低いものには、「安定した雇用労働」、「子育て支援」、「健全な財政運営」が挙げられています。これは、行政に対する要望だけではなく、少子高齢化の進展、経済状況（景気）人々のさまざまな志向や価値観などに影響を受けているものと推測されます。

さまざまな「まちづくりの取り組み（施策）」の今後期待される担い手について

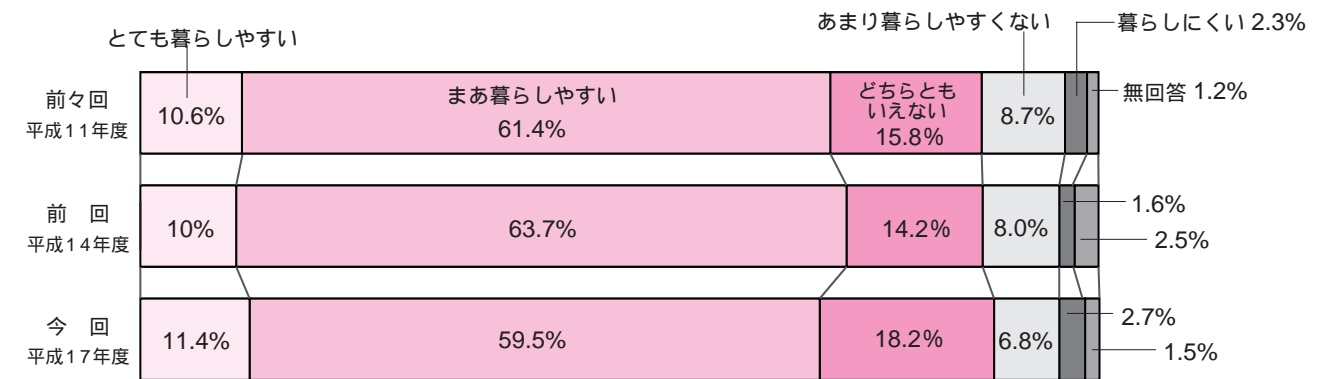
まちづくりの担い手	担い手が期待される主な取り組み（施策）
個人、家庭	子育て支援、健康づくり、幼児教育、環境の保全、交通安全のまちづくり、衛生的な環境づくりなど
町内会、自治会	地域コミュニティー、公園・緑地など
NPO、市民活動団体	市民文化、国際交流、ボランティアの活動など
幼稚園、学校、大学などの教育機関	幼児教育、義務教育（学校教育）、高等・専門教育など
民間事業者、農協・漁協、商工団体	観光、産業振興（商工業、農林水産業）、港湾づくりなど
行政機関	保健福祉（医療、生活保護等）、社会基盤整備（上下水道、消防・救急救助、防災等）など

市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担の下、協力連携しながらまちづくりを行う「市民協働」の必要性について



佐世保市の暮らしやすさについて

前回（平成14年度）、前々回（平成11年度）の調査結果との比較



詳しい結果は、市役所6階「行政資料閲覧コーナー」、各支所、各行政センター、市立図書館で閲覧できるほか、市ホームページでも見ることができます。この調査結果は、市の施策・事業の立案、見直しに反映させていきます。

「まちづくり学習会」のメンバーを募集します

～さまざまな担い手による佐世保市のまちづくりを考えてみませんか～

活動内容 本市のまちづくりについて、さまざまな立場の人たちが集い、話し合いながら、参加メンバーが主体的に学習する場・機会を提供します。具体的には、次のような手順で学習を進めていきます。

まちづくりリーダーや、専門家からまちづくりについての講話を聞く。
 市民意識調査結果や、各種統計資料などのデータを見て、本市のまちづくりの現状について確認する。
 市民の視点からまちづくりにおける今後の担い手とその役割や、まちづくりの目標について考える。

会議開催 12月から来年3月まで、平日の夜または休日の午後に4回程度開催予定。開催場所は、させば市民活動交流プラザ（戸尾町）の予定。

募集人数 15人程度

応募資格 市内在住、在学、在勤の人（年齢・国籍は問いません）

応募方法 「まちづくり学習会申し込み」と明記の上、住所、氏名、電話番号、職業、年齢を書いて、はがきまたはEメールにて申し込んでください。

締め切り 11月21日（月）必着

申し込み、お尋ね

〒857-8585（市役所専用）
 市役所企画調整課（☎24-1111）
 Eメール：kikaku@city.sasebo.lg.jp